

# 新たなえん罪 必ず起きる

私は、茨城県利根町布川 以上、えん罪で刑務所に入  
で1967年に起きた強盗 れられても精いっぱい生き  
殺人事件の犯人にされ、仮 よう」と決意しました。

釈放から15年目の再審公判 このえん罪の体験で得た  
で無罪判決(2011年) 人生観は、国民一人ひとり  
が出るまで44年にわたって のたった一度しかない命を  
えん罪被害とたたかい続け 何よりも大切にす憲法の  
ました。 理念と合致するのです。

警察にうその「自白」を 安倍首相は今、憲法に反  
強要され、29年間の獄中生 して思想・内心を処罰する  
活を強いられました。無期 「共謀罪」法案を押し通そ  
懲役が確定して絶望的な思 うとしていきます。一般市  
いのなか、「たった一度の 人生。人間として生まれた



布川事件えん罪被害者 桜井 昌司さん

インタビュー

## ストップ 共謀罪

民は対象にならない」と説 明しますが、新たなえん罪 がつくられるのは明らかで す。今でさえ、無実の人び とが大勢、刑務所に入れら れて貴重な人生を奪われて いるんですよ。  
心のなかで考えているこ とを犯罪として立証するに は、スパイや盗聴で市民の 暮らしのすべてを覗きま

るしかありません。取り調 べでは、今まで以上に自白 をとるのが重要となり、裁 判も自白に偏重していくで しょう。今度は、実際にや ったことを聴取されるんじ ゃない。考えたことを尋問 されるのです。すごい世界 になりますよ。  
私が逮捕されたのは20歳 のときです。朝9時から夜 中の12時ごろまで警察の取 り調べが続きました。「私 は犯人じゃない」「アリバ イを言ってみろ」「わから ない」「言えないのは犯人 だからだ」と際限なく責め られ、自白を求められまし た。警察がうそをつくはず がないと信じていた私は 「認めないと死刑もある」 と言われ、恐怖を覚えまし た。

「殺人犯だ」と人格を否 定され続け、潔白を証明で

布川事件 1967年に、茨城県利根町布川に暮らす 大工の男性が殺害され、現金が奪われた事件。 警察は、桜井昌司さんと杉山勇男さん(故人) を不当に別件逮捕し、犯人と決めつける取り調べを行 いました。物証がないなか、警察が強要した虚偽の「自 白」を根拠に無期懲役が確定。水戸地裁土浦支部は11 年、再審公判で2人に無罪判決を出しました。

きない苦しきは、なかなか 理解してもらえません。う うな国になってしまっ てる。戦前、治安維持法によっ て、侵略戦争に反対し、民 主主義を訴えた人びとが捕 まりました。戦後70年が過 ぎても、いまだに天皇のた めに命を差し出すことを美 徳とした時代を賛美する政 治家が権力を担い、国民の 命と人権を踏みしめる政治 を繰り返しています。

### 個人の尊厳こそ

警察は、どんなに汚い違 法な行為を犯しても自分 たちの「正義」を証明する ための捜査を行います。平 気です。自白を強 要し、証拠すら改ざん・ね つ造る。「共謀罪」がで きて、警察の権限が強化さ れ、市民が常に監視される 世の中になったらどんなに

聞き手・写真 秋山豊